

事務事業名	自治会防犯灯設置支援事業		所属部局	市民部		単位番号	4029	
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	みんなでまちづくり推進課		課長名	次長 大芝久	
			所属担当	交通安全・防犯担当		担当者名	勝 淳一	
基本政策	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目
政策	06	安全な環境づくり	事業区分	01	一般	02	01	12
施策	09	地域防犯体制の充実						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 16 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	南アルプス市生活安全条例 南アルプス市防犯灯設置事業費補助金交付要綱			
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)					
	【概要】夜間における市民の安全及び犯罪被害の未然防止を図るため、自治会が管理を行っている防犯灯の設置や修繕に対し補助金を交付している。(設置基準あり)		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)		
	【補助対象・補助金額】電柱共架は工事費の1/2(上限1万円)で専用柱は工事費の1/2(上限2万円) 【業務の流れ】年度当初に各区長に通知→申請受付(期限あり)→現地調査→交付決定→自治会で設置→実績報告→各区へ支払い		その他補助金	1,134				
					計		1,134	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	25年度活動実績	4月に各区長へ要望取りまとめを依頼し、期間を設け申請受付。補助金交付は新設34基、修繕67基で総計101基、却下は16基	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	26年度活動予定	4月に各区長に通知→6/30まで申請受付→現地調査→交付(却下)決定通知→実績報告受付→補助金交付			ア 防犯灯設置灯数(補助金交付灯数)	基
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	自治会 地域住民(市民)		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 自治会数	区
					イ 人口(4月1日現在)	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	夜間に安心して歩くことができる		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 18時～22時の間に市内で発生した犯罪件数	件
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	地域での自主防犯意識を向上させる		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 防犯意識を持つようになったと答えた市民の割合	%

年間トータルコスト		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	千円							
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他一般財源	千円	654	918	1,134	1,675	1,675	1,675	
	事業費計(A)	千円	654	918	1,134	1,675	1,675	1,675	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	600	600	600	600	600	600	
	人件費計(B)	千円	2,731	2,731	2,731	2,731	2,731	2,731	0
	(A)+(B)	千円	3,385	3,649	3,865	4,406	4,406	4,406	0
活動指標	ア	基	58.0	83.0	101.0	78.0	78.0	78.0	
	イ	円	654.0	918.0	1,134.0	990.0	990.0	990.0	
対象指標	ア	区	109.0	109.0	114.0	114.0	114.0	114.0	
	イ	人	72,854.0	72,566.0	72,566.0	72,566.0	72,566.0	72,566.0	
成果指標	ア	件	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
	イ								
上位成果指標	ア	%							
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	旧町村時代から犯罪防止、住民の要望等から行っていた事業で、補助のやり方はそれぞれだったが、合併初年度の平成15年度にすり合わせを行い平成16年度に補助金交付要綱を制定した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	地域の防犯意識の向上や市の防犯対策などにより犯罪件数は減少傾向にあるが、不審者情報は依然あとを絶たないこともあり、防犯灯新規設置に対する要望は依然多く、修繕基数も増加傾向にある。また、電気料が右肩
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	補助金申請手続きの簡略化。一式交換修繕だけではなく部品のみでも補助金対象にしてほしい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	20年度までは各支所で交付決定しており、設置に対する統一基準がなかった。H21から事務を本庁で一本化し、年度当初に各地区区長会で説明し、期日を設け申請してもらいその緊急性・必要性やバランスを考慮しつつ統一基準で判断し決定している。21年に公平かつ適切な運営を図るため防犯灯設置基準(内規)を設けた。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	防犯灯設置基準(内規)に基づき運用を行い、過度の設置にならない適切な事業運用となるよう、その必要性・緊急性等を鑑みながら、親切(補助金)の決定及び却下の判断を行っている。

事務事業名	自治会防犯灯設置支援事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	--------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 防犯灯を整備することは、安全・安心で住みよい地域社会の実現につながる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 防犯灯は自治会(地域)だけの負担では、設置・維持管理が困難であるので行政関与は妥当である。自治会の事業に対する行政の支援であるため、民間やNPO、市民協働に移行することは不可能。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市内全域をカバーしている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 市内全域で防犯灯の整備は一応図られており、その上で地域の実情に合わせた整備を進めている。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 自治会の負担が大きくなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 平成16年に合併前のバラつきを統一した経過があり、現在はそのルールで定着しているため、廃止した場合、区の負担だけではとても厳しくなり、その影響は大きい。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 各自治会からの要望についてその重要性・緊急性等を考慮し、必要性の高い要望については補助金を交付、必要性の低い要望については申請の却下を行っている。これ以上削減するとすると、1件あたりの補助金額を減額するか、補助金交付件数を減らし必要性の高い要望についても却下するしかない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 H21年度より本庁で業務を一本化した。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 自治会内(区内)の防犯灯の設置・修繕、維持管理は地元対応としている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	当面は現状維持により事業を実施していくことが妥当と判断する

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					